涼しき土地（一）「讀賣新聞」1907年（明治40）6月1日 ※房総から水戸・仙台・松島方面への紀行文とスケッチ。この日から19回連載

竹久夢二と読売新聞 ～記者・夢二の仕事とそれから～

大正ロマンの画家として知られる竹久夢二（一八八四－一九三四）は一九〇七年（明治四〇）四月、読売新聞に入社します。紙面には若き日に記者として取材した、二十二歳の夢二による瑞々しい時事スケッチが掲載され、さらに紀行文の連載も手掛けました。

本展では記者としての仕事をはじめ、公私にわたり注目され取材対象にもなった夢二に関する記事もあわせて紹介、加えて明治末期～昭和初期に、紙上で情報発信されたニュースや話題を夢二作品とともにご覧頂き、読売新聞と夢二の関わりを展観します。

夢二画集 春の巻（広告）「讀売新聞」1909年（明治42）12月15日

見納めの谷中村「讀売新聞」1907年（明治40）7月6日
※足尾銅山鉱毒対策という大義名分で谷中村は遊水地として沈められ、村民は他所への移住を余儀なくされた

博覧会スケッチ（掃除人）「讀売新聞」1907年（明治40）5月15日
※上野公園で行われた東京勧業博覧会を取材

竹久夢二生誕140年×読売新聞創刊150周年

竹久夢二と読売新聞
～記者・夢二の仕事とそれから～

主催＝竹久夢二美術館／読売新聞社　協力＝ヨミダス

休館日＝月曜日、年末年始（12/28～1/3）
ただし10/14（月祝）、11/4（月祝）、1/13（月祝）開館、
10/15（火）、11/5（火）、1/14（火）休館
開館時間＝午前10時～午後5時（最終入館午後4時半）
入館料＝一般1,000円／大・高生900円／中・小生500円
★弥生美術館「画業40周年記念 上條淳士展 LIVE」展もご覧いただけます

2024. 9.28（土） ▶▶▶ 2025. 1.26（日）

担当学芸員によるギャラリートーク
2024/10/12（土）、11/10（日）、12/14（土）、
2025/1/12（日）午後2時より

竹久夢二美術館
〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 03-5689-0462
https://www.yayoi-yumeji-museum.jp

TAKEHISA YUMEJI MUSEUM

図版はすべて読売新聞社提供